

2024 年度第 2 回技術委員会議事録

会議名	金属・セラミックス技術委員会	主催者：電気学会
日時	2024 年 7 月 5 日(金)16:00~17:30	場所： サニー貸会議室/ZOOM ビデオ会議室
出席者	伴野(NIMS)、○秋元(プロテリアル)、○下山(青山学院大)、○田中(名古屋大)、寺尾(東大)、○松崎(東芝 EE)、明連(埼玉大)、○山梨(横国大)、山本(農工大)、○吉川(横国大)【敬称略】(○オンライン)	

【配布資料】

資料0 議事次第

資料1 前回議事録案

資料2 電気学会 金属・セラミックス技術委員会 名簿

資料3 令和6年度 金属・セラミックス技術委員会役割分担 (案)

資料4 第5回 A 部門役員会資料_会員比率-中高生向け HP.

資料5 令和7年電気学会全国大会 シンポジウム取決め (案)

資料6 研究会開催案内通知(低温工学・超電導学会との合同研究会)

資料7 金属・セラミックス技術委員会ホームページ

資料8 ニューロモルフィック調査専門委員会 設置趣意書

資料9 令和6年度活動計画

【議事】

(1) 前回議事録の確認(伴野委員長)

- 資料1に基づき前回議事録の確認を行い承認された。

(2) 名簿の確認、委員の交代等(伴野委員長)

- 資料2に基づき名簿の確認がなされた。

(3) 役割分担の確認(伴野委員長)

- 資料3に基づき各委員の役割分担について確認された。

(4) 第5回 A 部門役員会報告について(伴野委員長)

- 資料4に基づき、調査専門委員会における電気学会会員比率の条件が緩和されることが報告された。新設時は会員比率が 1/3 以上(以前は 1/2 以上)、継続時は会員比率が 1/2 以上(以前は 3/4 以上)であればよいことになった。
- 調査専門委員会の成果報告形態として、技術報告(書籍の出版扱い)も検討してほしいとの依頼があったことが報告された。
- 中高生にわかるような HP を作成してほしいとの依頼について説明がなされた。

(5) 金属・セラミックス技術委員会ホームページ(田中委員)

- ・ 田中委員から金セラ委員会ホームページの制作状況が報告された。
- ・ HP に特集号の予告や若手セミナーの情報も記載することになった。

(6) 令和7年電気学会全国大会 シンポジウム取決め(案)

- ・ 資料5に基づき、全国大会における講演者への交通費、謝礼などの扱いの説明があった。

(7) 研究会開催案内(伴野委員長)

- ・ 資料6に基づき、B部門超電導機器技術委員会と共同開催、低温工学・超電導学会共催との研究会の案内があった。
- ・ 2024年7月31日～8月1日(北海道大):超電導機器委主催
B部門超電導機器技術委員会と共同開催、低温工学・超電導学会共催
テーマ:超電導応用および材料関連技術
- ・ 2024年11月5日(都内近郊):金セラ委主催
B部門超電導機器技術委員会と共同開催、低温工学・超電導学会共催
テーマ:超電導応用および材料関連技術
昨年度と同様に招待講演を依頼することとした。(候補:東北大長崎氏、東大前田研・小林氏)

(8) 調査専門委員会活動状況

- 1.「ニューロモルフィック回路実装に向けたハードウェアに関する調査専門委員会」(山梨委員長)
 - 2.「超電導材料創出のためのインフォマティクス応用に関する調査専門委員会」
(山本委員長、松崎編修委員)
- ・ 山梨委員より調査専門委員会の活動状況について報告がなされた。
 - ・ 山本委員、松崎編修委員より特集号の出版に向けた編集状況について報告がなされた。

(9) 今年度活動計画

- ・ 資料9に基づき伴野委員長より活動計画案について説明がなされ、議論した。
- ・ A部門大会(愛媛大学 城北キャンパス 2024年9月2日(月)～9月4日(水))
- ・ 全国大会(明大 2025年3月18日(火)～20日(木)およびそれ以降)シンポジウム企画提案
現行のニューロモルフィック調査専門委員会のトピックを候補として、金セラ委からのシンポジウム企画を検討していくこととした。
- ・ 特集解説(1月号)「2025年研究開発の動向と最前線」:締切 2024年9月30日(月)
A部門誌1月号特集への金セラ技術委員会からの投稿を山梨委員にお願いすることとなった

(10) 金属セラミクス分野の強化、委員の勧誘

- ・ 超電導線材、機器関連の方にも声をかけることとなった

次回委員会は10月頃に開催する予定。